

進捗報告書（実行団体）

事業名:	コロナ禍で困窮する子どもの学習支援
資金分配団体:	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
実行団体名:	特定非営利活動法人キッズドア
実施時期:	2020年10月～2021年9月
事業対象地域:	東京都江戸川区・足立区
事業対象者:	1) 江戸川区の貧困家庭およびコロナで家計が急変した家庭の子ども（中学生～高校生） 2) 足立区および近隣エリアの外国にルーツをもつ子ども（小学生、中学生の学齢）及びその保護者。教育相談支援対象者は教育を受ける本人及びその保護者とする。

Version 1.2

日付: 21年3月22日

I. 事業概要

事業概要
1) キッズドア無料学習会in江戸川 会場: グリーンパレス江戸川内貸会議室 対象: 江戸川区在住の中学生、高校生（塾などに通うのが難しいご家庭） 開催日時: 毎週月曜日 16時30分～20時30分、毎週土曜日 15時～19時 内容: 学習支援スタッフ（アルバイト及びボランティア）による学習指導、定期テスト対策、高校受験支援、大学受験支援および体験活動。
2) 外国にルーツのある子ども及び家庭への支援in足立 会場: キッズドア・リライン（借上物件: 足立区竹の塚2-17-15） 対象: 外国にルーツを持ち困難な状況にある6～18歳およびその保護者 開催日時: 毎週水曜日～土曜日 10時～19時（3部制） 内容: 日本語教師資格保持者による日本語指導、日本の学校での勉強（宿題、テスト対策等）のサポート、教育相談その他生活相談

II. 進捗報告の概要

総括
1) キッズドア無料学習会in江戸川 緊急事態宣言に伴う時間の短縮はあったものの、一度も中止がなく、実施できている。全体の参加生徒数が伸び悩んでいるため、近隣の関係機関へのチラシ配布（計250枚配布済み）や3月末に予定しているイベント等で、新たな生徒の獲得を目指していく。
2) 外国にルーツのある子ども及び家庭への支援in足立 生徒、保護者、家庭への支援は問題なく進められている。5月からは学校への訪問も開始できるため、よりよいサポートを行なっていく。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
<江戸川事業> 1. 江戸川区の困窮家庭の中高生のべ1600人以上が感染予防が徹底した会場で学習会に参加できる（4時間×80回） 2. 高校受験指導を受け高校に合格する 3. 子どもの学力低下の不安が解消する。保護者には必要に応じて多文化共生へ通訳を依頼し、保護者の話を正確に聞き取り、不安を解消する。 <足立事業> 1. 外国にルーツを持つ子どもの日本語能力が向上する 2. 外国にルーツをもつ子どもの就学率及び進学率が増加する 3. 外国にルーツを持つ子どもの保護者の家庭支援について、関係機関と連携し、必要な支援につなげ保護者が学校からの書類を読み、手続きができるなどの自立度を高める。	<江戸川事業> 1. （6ヶ月の）平均参加生徒数=3.06名、最大参加生徒数=7名、のべ参加人数=123名。参加生徒数増加に向け、3月中旬ごろに新規生徒の増加を目的としたイベントを実施する予定。引き続き面談等によって生徒のニーズを探り、定着の向上を目指す。 2. 都立高校推薦合格1名、都立高校一般合格3名（受験対策を行なった生徒の100%が合格） 3. 生徒、保護者への学習会の満足度や、学力低下の不安が解消したかどうか等は、3月27日より順次アンケートを実施し、月に1回の生徒への面談と合わせて、事業改善や学力低下への不安払拭に向けた計画を立てていく。 <足立事業> 1. 依然として漢字やカタカナ等が読めない生徒はいるものの、中には国語、算数、英語のテストでほぼ満点を取れるようになった生徒もいる。引き続き、一人ひとりの状況を注意深く観察し、生徒に合ったサポートを行なっていく。 2. 4月に足立区の担当課と調整し、5月の連休明けから学校への訪問を開始する。 3. 12月から始めた保護者向けの面談を中心に、学校からの通知内容の説明や就学及び進学に向けた手続きを自ら進められるよう、漢字の勉強のサポートや日本語学習の自習の仕方など計20件、自立に向けたサポートを継続的に進めている。

活動	進捗状況	概要
E1.学習会スタッフ&ボランティア研修(随時実施)	ほぼ計画通り	足立区・江戸川共通 キックオフ研修・寄り添い型学習支援について 足立区主催の「日本語ボランティア研修」へスタッフ全員参加。学習障害の疑いのある生徒への学習支援について、責任者参加。
E2.キッズドア学習会in江戸川2020開始	ほぼ計画通り	<1月以降> 月曜の学習時間を以下の通り一時的に変更している。(緊急事態宣言を理由とした利用施設からの要請のため) 変更前:16:30-20:30 変更後:16:30-20:00 ※30分短縮
A1. 足立日本語学習支援(初級日本語・やさしい日本語で教科学習)	計画通り	10月1日より運営開始。水曜日と土曜日の週2日の開催から、木曜日と金曜日を加えた週4日に変更。 ●小学4年生の女の子 漢字の文字も4文字練習。道徳教科書の音読み、9割ぐらい読めるようになった(1,2年生の漢字は読めた。熟語も読めた)。となえておぼえる漢字プリント8文字練習。書き順がよくなった。 ●濁音と半濁音を間違えやすい。小学生には、漢字：漢字の成立、読み方、書き順を丁寧に指導した。熟語はかせゲームなど遊びを取り入れて飽きないようにしている。「おうじとこじき」の物語を音読みした。途中で単語の意味を確認しながら実施した。次回はルビなしの文章に挑戦したい。中学生は、語彙プリント、漢字アプリを使いかい例文作りもできるよう取り組んでいる。
A1. 学習教材の開発(漢字のルビ振り、動画教材作成)	計画通り	教材出版社やリクルートに教材開発について打診。需要と供給のバランスについて検討中。
A1 日本語学習支援者育成研修	計画通り	足立区主催の「日本語ボランティア研修」へスタッフ全員参加し、20時間の講義を受講した。
A2. 生活・教育相談支援(学校通知、今後の進路に向けての計画、手続き、授業料免除、生活に関する相談に応じる)	計画通り	<p>目標：保護者が学校の通知内容、就学及び進学の手続き方法を理解し、自ら手続きをする。 報告：日本国籍以外の保護者の場合、学校の通知内容が分からない場合が多く、弊団体が開催している学期毎の三者面談時や必要に応じ5件のサポートを行った。また日本語や漢字の学習を希望した保護者には、学習サポートを5件行った。就学及び進学手続きについては、対象生徒がいなく、相談はなかった。</p> <p>来日3年以内の中国籍の保護者は日本の学校の仕組みを理解していなかったため、日本の学校の仕組みや中国と日本の違いについて説明した：3件</p> <p>2.子どもの通知表の内容が分からない保護者(勉強する余裕がない)に対して、通知表の内容を伝えた。学校から求められている保護者の協力事項を達成するために、保護者はどのような取り組みをしないといけないか、共に考え、解決するための行動練習をした。(例：毎日の遅刻、忘れ物、宿題忘れ→対策：時計の読み方、時間管理の仕方、来所前に忘れ物がないか持ち物チェック、サラダボウルで必ず宿題をすることを徹底し、サラダボウルには時間通りに忘れ物をせずに来所し、宿題を完成させた)：2件</p> <p>課題：1学校は外国籍の保護者に配慮し、全てひらがなで書いていたが、長文でスペースがなく、逆に分かりにくい文章となっていた。通常やさしい日本語では、言葉毎にスペースを入れ、短文にし、分かりやすくしているが、学校はあまりやさしい日本語が使えていない。もう1校は、全て漢字が入り、漢字が読めない保護者は完全に全く読めなかった。通知表の書き方について、学校への提案は難しいため、保護者と一緒に読むことを行った。</p> <p>3.日本語に対する勉強意識が高いお母様に対して、学校からの通知を読むための漢字アプリを教え、一緒に読む練習をし、現在漢字アプリを使い自ら通知を読んでいる。：1件</p> <p>4.漢字が読めない保護者に漢字の勉強のサポートをした。：3件 課題：子どもに教える合間に保護者に対応し十分時間が取れなかったため、保護者対象の時間を別枠で設けたサポートが必要。</p> <p>5.日本語学習の自習の仕方を教えた：1件</p>
A2. 食事・食品提供	計画通り	11月に夜遅くまで親が帰ってこず、睡眠時間の減少や、食事をとらないと言った家庭の実情を把握。土曜日は空腹状態で来所するため、おにぎりとおみそ汁を提供した。その他、休憩時におやつを少々個別包装となっている物を提供した。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
(団体として、事業実施後（1年以降）に目標とする状態への指標等を設定している場合、ご記載下さい)	

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥6,102,500	¥5,688,800	¥11,791,300	¥955,471	8%
	管理的経費	¥814,350	¥814,350	¥1,628,700	¥405,320	25%
合計		¥6,916,850	¥6,503,150	¥13,420,000	¥1,360,791	10%
補足説明		食を伴うイベントはコロナ感染対策が完全には取り切れず中止とするなど、イベント開催に至らなかった。人件費については、条件整備期のため、子どもの学習に見合う人数を配置したことで執行率が低い、4月からは新規採用スタッグも増え増加していく。				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p><江戸川事業> 緊急事態宣言を理由とした利用施設からの要請のため、一時的に実施時間の短縮があった。今後の感染状況によっては、施設の利用が難しくなる可能性がある。対応としては、常に感染状況の動向に注意しつつ、オンラインでの支援にシームレスに移行できるよう、準備や生徒への告知等順次行っていく。</p> <p><足立事業> 新型コロナウイルス感染拡大によるイベントの中止があり、今後も同様に中止になる可能性がある。イベントを企画する段階で、なるべく中止にならないようリスクマネジメントをしっかりと行ない、オンラインでの実施や、少人数複数日での開催等、柔軟に対応できるように進んでいく。</p>

VII. その他

自由記述
<p><江戸川事業> 事業実施から半年が経ち、定着してくれた生徒や塾からキッズアStudyRoomへ乗り換えてくれた生徒など、コロナ禍に苦しみ中高生に本事業の支援が届くようになってきた。未だ、江戸川区内にはコロナ禍の影響を受けた家庭やその生徒が多数いると思われるため、対象者に本事業の案内が届くよう、これからも広報、告知等を積極的に進んでいく。</p> <p><足立事業> 海外にルーツがある家庭は、駐車のマナーや堅苦しい日本語の理解度など、想定していなかった様々な課題が出た。この半年は、一つひとつ丁寧に対応を行っていたため、保護者の方からの信頼もしっかりと得ることが出来た。今後はより一層手厚いサポートを行ないつつ、保護者が自身の力で様々な問題に臨めるような支援を行っていく。</p>

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)		
広報制作物等	有	<江戸川事業> A4チラシを江戸川区児童相談所150枚、社会福祉協議会100枚 配布。
報告書等		

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	いいえ	2021年度から内部に窓口を設置し、メールで案内する。